









6－3. 信号線接続要領

本機では従来の通信方式であるスーパージンク（以下「IBSL」と表記します）と新通信方式であるスーパージンクⅡ（以下「新SL」と表記します）の2通りの通信方式が選択できます。それぞれ以下の特徴、制限がありますので接続する室内機や集中制御に合わせて選択してください。

新SL未対応の室外機、室内機、集中制御機器が接続されているネットワークに信号線を接続する場合は冷媒系統が別であってもIBSLでの通信を選択してください。

通信方式	従来通信方式（IBSL）	新通信方式（新SL）
室外機の設定（SW5-5）	ON	OFF（出荷時設定）
同一ネットワーク内の室内機台数	最大48台	最大128台
同一ネットワーク内の室外機台数	最大48台	最大32台
信号線（合計長さ）	1000mまで	シールド線以外を使用する場合は2000mまで シールド線（MVVS）0.75mm <sup>2</sup> を使用する場合は1500mまで シールド線（MVVS）1.25mm <sup>2</sup> を使用する場合は1000mまで
（最長長さ）	1000mまで	1000mまで
接続可能室内機	新SL未対応機（FDOP○○○2LXシリーズ） 新SL対応機（FDOP○○○3LXシリーズ） 混在も可能	新SL対応機（FDOP○○○3LXシリーズ）

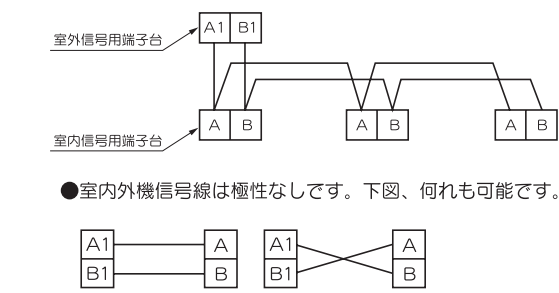
注：FDTP224,280形は室内機1台につき通信上は2台分として台数計算してください。

- 信号線はDC5Vですので絶対に200Vの配線を接続しないでください。 基板上の保護ヒューズが動作します。
  - ①信号線に200Vが印加されないようになっていることを確認してください。
  - ②電源投入前に信号線端子台抵抗をご確認ください。信号線端子台抵抗が100Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台に接続している可能性があります。  
**抵抗値の目安＝46000／（○○○2シリーズ接続台数×5）＋（○○○3シリーズ接続台数×9）**です。  
抵抗値が100Ω以下になる場合は同一ネットワーク上の室内機台数を減らすため、一時的に信号線を外して複数のネットワークに分離し、個別に確認してください。

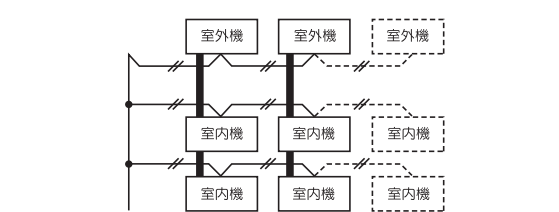
室内・室外信号線

- A1・B1に室内・室外機間信号線をつないでください。
- A2・B2に室外機間信号線をつないでください。

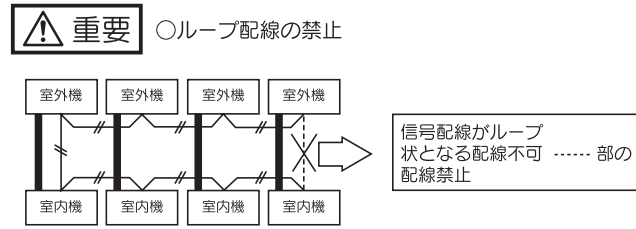
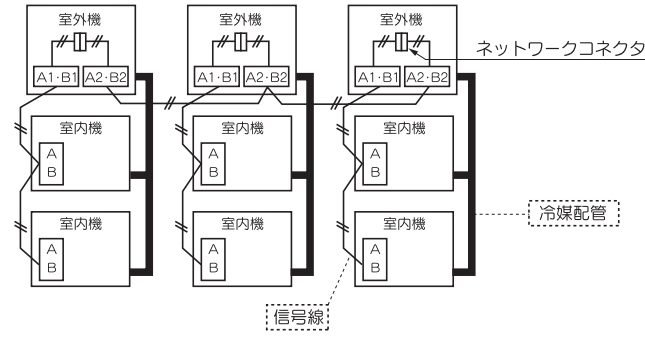
(1) 室外機1台の場合



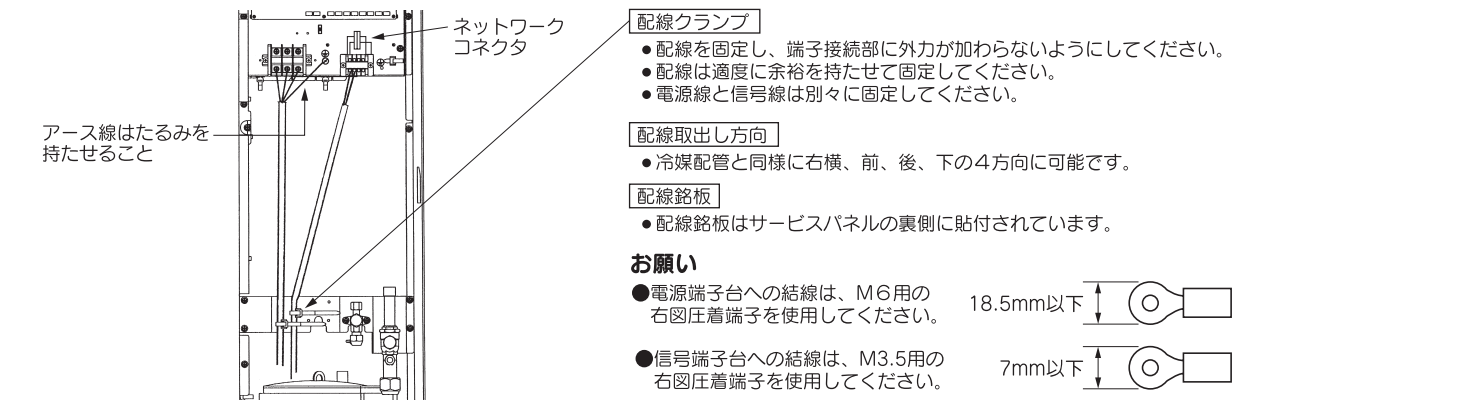
(3) 下図のように信号線を接続する方法も可能です。



(2) 室外機複数台の場合



電源線・信号線結線



リモートコントローラ配線仕様

- リモコン線は0.3mm<sup>2</sup>が標準です。延長は600mまで可能です。
- 100m以上の場合は、右表に示す配線を使用してください。
- 接続室内機がFDOP○○○2LXシリーズの場合3心、FDOP○○○3LXシリーズの場合2心を使用してください。

長さ（m）	配線太さ
100～200以内	0.5mm <sup>2</sup>
～300以内	0.75mm <sup>2</sup>
～400以内	1.25mm <sup>2</sup>
～600以内	2.0mm <sup>2</sup>

9

## 7. コントローラーの設定

7－1. ユニットアドレスの設定

本制御システムでは、複数の空調機の室外機と室内機及びリモコンからなるコントローラを、各コントローラ内のマイコンにより通信制御するものです。アドレスの設定は室外機と室内機の両方とも行ってください。室外機→室内機の順で電源を入れてください。間隔は1分を目安にしてください。

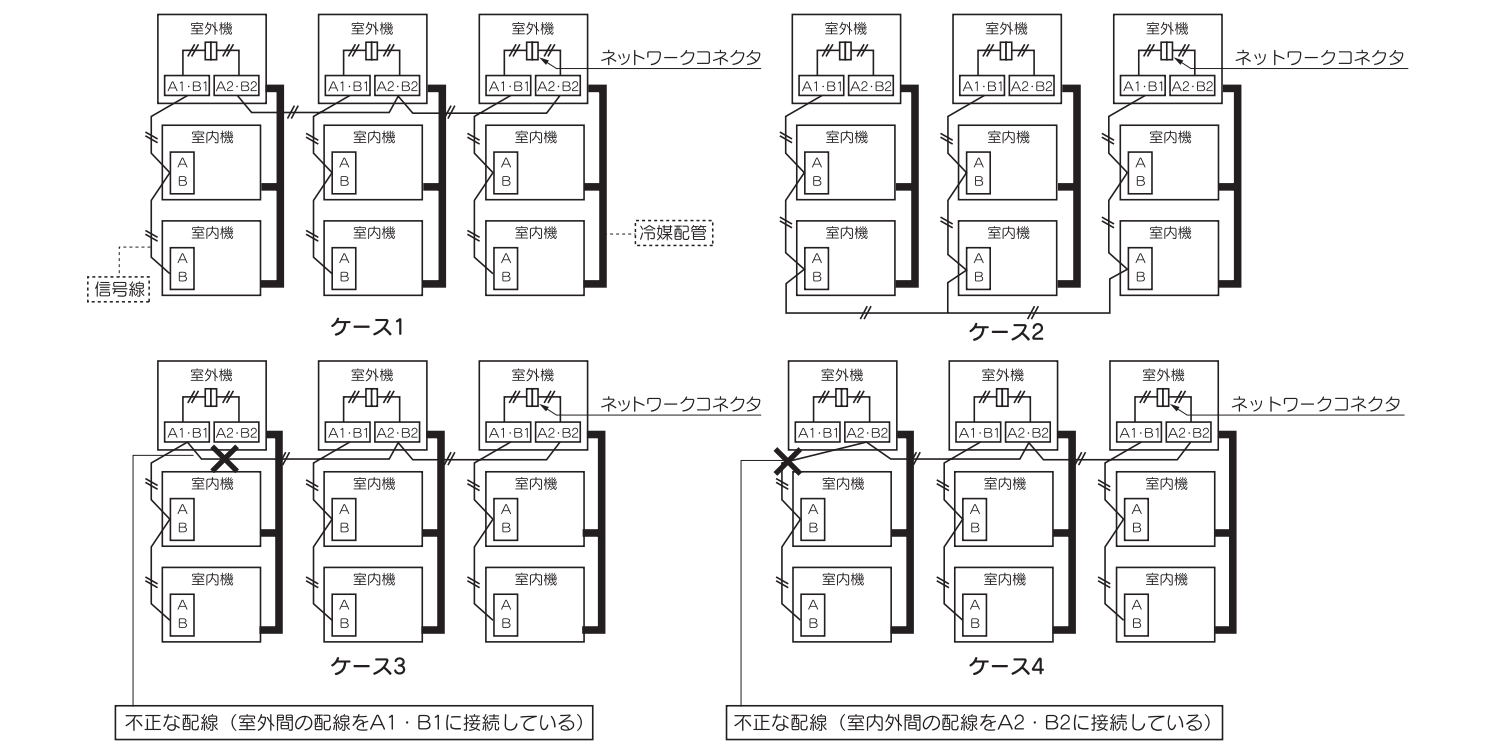
本機では従来の通信方式（IBSL）と新通信方式（新SL）の2通りの通信方式が選択できます。それぞれ6-3の表の特徴、制限がありますので接続する室内機や集中制御に合わせて選択してください。

新SL未対応の室外機、室内機、集中制御機器が接続されているネットワークに信号線を接続する場合は冷媒系統が別であってもIBSLでの通信を選択してください。

**アドレス設定後通信ができるようになったら室外機7セグで通信方式を確認してください。**

通信方法		新SL		IBSL	
アドレス方法		自動	手動	自動	手動
複数の冷媒系統を信号線で接続する場合 (例えば集中制御を行う場合)	ケース1 複数の冷媒系統を接続する信号線が室外機間で接続されている場合 (ネットワークコネクタを外した際に各冷媒系統が1系統ずつに分離される状態)	OK※1	OK	×	OK
	ケース2 複数の冷媒系統を接続する信号線が室内機間で接続されている場合	×	OK	×	OK
冷媒系統が1系統の場合（信号線が冷媒系統をまたがない場合）		OK	OK	OK	OK

- ※1 A1・B1に室外機間信号線を接続しないでください。 アドレス設定ができない場合があります。（ケース3）  
A2・B2に室内外機間信号線を接続しないでください。 アドレス設定ができない場合があります。（ケース4）
- ※2 ケース2の場合自動アドレス設定ができません。手動にてアドレス設定を行ってください。



●アドレスNo.設定

基板上的設定SW1～4及びSW5-2、室外基板上の設定SW1、2を「アドレス設定方法一頁」の表のように設定してください。	
室内基板	SW1, 2 室内No.設定用（10の位と1の位） SW3, 4 室外No.設定用（10の位と1の位） SW5-2 室内No.スイッチ（100位）（OFF：0、ON：1）
室外基板	SW1, 2 室外No.設定用（10の位と1の位）

●アドレス設定方法一覧【 】内はIBSL用の数値

	新SL対応機			新SL未対応機		
	室内機アドレス設定	室外機アドレス設定		室内機アドレス設定	室外機アドレス設定	
室内No.SW	室内No.SW	室外No.SW		室内No.SW	室外No.SW	室外No.SW
手動アドレス（IBSL／新SL）	000～127[47]	00～31[47]		00～47	00～47	00～47
1冷媒系統自動アドレス（IBSL／新SL）	000	49		49	49	49
複数冷媒系統自動アドレス（新SLのみ）	000	49		00～31	不可	不可

- 本表以外の数値に設定しないでください。エラーが出る場合があります。
- 注：FDOP○○○2LXシリーズのネットワークなどIBSLのネットワークに新規に追加する場合は、通信方式はIBSLを選択し、手動アドレス設定してください。
- FDTP224,280形は室内機1台につき基板が2個ありますので2個の基板それぞれ異なる室内No.SWを設定してください。
- 室外No.は室外基板と室内基板上にあり、どの室外機とどの室内機が冷媒配管で結ばれているかを示すNo.です。冷媒配管で結ばれた室内・室外機は同一室内No.となるようにしてください。
- 室内No.は室内機を認識するためのNo.です。ネットワークの他の室内機と重複しないようにしてください。

10

以下の手順は特に断りがない場合は通信方式として新SLを選んだ場合の手順です。IBSLを選んだ場合には【 】内の数値に読み替えて作業を行ってください。

- ①手動アドレス設定 新SL/IBSL共通【 】内はIBSL用の数値
- ①室外機のアドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。電源投入することで室外アドレスが登録されます。  
**室外No.スイッチを00～31【IBSLの場合00～47】**の範囲で設定してください。  
ネットワーク上の他の室外No.と重複しないように設定してください。
- ②室内機のアドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。電源投入することで室内アドレスが登録されます。  
**室内No.スイッチを000～127【IBSLの場合00～47】**の範囲で設定してください。  
**室外No.スイッチ**は対応する室外No.を**00～31【IBSLの場合00～47】**の範囲で設定してください。  
ネットワーク上の他の室内No.と重複しないように設定してください。
- ③室外機→室内機の順で電源を入れてください。間隔は1分間以上を目安にしてください。
- ※同一ネットワーク内に新SL未対応機がある場合、SW5-5をONにして通信方式をIBSLとしてください。IBSLの場合、ネットワーク最大接続室内機台数は48台です。

- ④自動アドレス設定 新SL/IBSL共通【 】内はIBSL用の数値
- 新SLでは従来の冷媒系統が1系統の場合の自動アドレス設定に加え、複数の冷媒系統を信号線で接続する場合でも室内機の自動アドレス設定が可能です。ただし、配線方法等、条件がありますので本説明書をよく読んで実施願います。

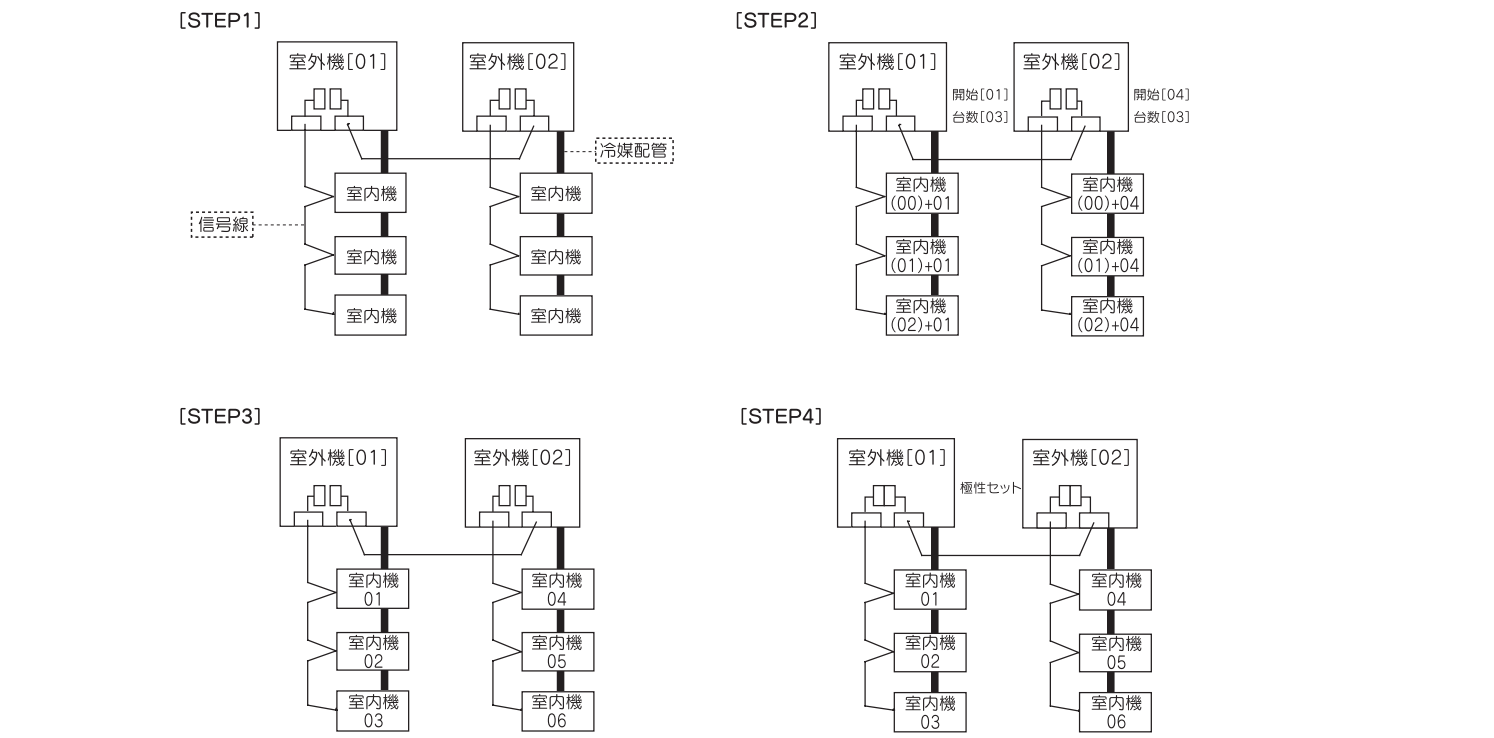
- (1)冷媒系統が1系統の場合（新SL/IBSL共通【 】内はIBSL用の数値）
  - ①室外機のアドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。  
**室外No.スイッチが出荷時の49**に設定されていることを確認してください。
  - ②室内機のアドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。  
**室内No.スイッチが出荷時の000【IBSLの場合49】**に設定されていることを確認してください。  
**室外No.スイッチが出荷時の49**に設定されていることを確認してください。
  - ③室外機→室内機の順で電源を入れてください。間隔は1分間以上を目安にしてください。(2)の手順のように7セグで設定を行う必要はありません。
  - ④室外機の7セグで表示される室内機台数と実際に冷媒配管が接続されている室内機の台数が一致するか確認してください。

- (2)冷媒系統が複数の場合（新SLのみ可能。IBSLの場合、手動設定でアドレス設定してください）  
(冷媒系統を接続する信号線が室外機間で接続されており、通信方式として新SLを選択した場合のみ実施できます。)

操作手順（各室外機で実施願います）

- [STEP1]（電源投入前実施内容）
  - ①室外機のアドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。  
**室外No.スイッチを00～31**の範囲で設定してください。ネットワーク上の他の室外No.と重複しないように設定してください。
  - ②室内機のアドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。  
**室内No.スイッチが出荷時の000**に設定されていることを確認してください。  
**室外No.スイッチが出荷時の49**に設定されていることを確認してください。
  - ③自系統を分離 各室外機の**ネットワークコネクタ（白色2P）**を外してください。（接続したまま電源投入されると誤設定となります。）
- [STEP2]（電源投入と自動アドレス設定）
  - ④室外機室内機電源投入 室外機→室内機の順で電源を入れてください。間隔は1分間以上を目安にしてください。
  - ⑤各室外機の7セグのP31で“1”を選択して確定をし、自動アドレス開始を入力してください。
  - ⑥開始アドレスと室内機接続台数の入力 各室外機の7セグのP32で室内機の開始アドレスを入力してください。
  - ⑦開始アドレスを設定すると接続台数入力に戻ります。 各室外機の7セグで室内機接続台数を入力してください。各室外機ごとの接続台数を入力願います。（7セグのP33で入力できます）  
接続室内機が入力されたら7セグ表示は「AUX」となり点滅します。
- [STEP3]（自動アドレス完了確認）
  - ⑧室内機アドレス決定 室内機アドレスが決定したら7セグが「AUE」となり点滅します。このときエラーがあれば「A○○」表示となります。 各室外機を表示を確認願います 室内機接続台数により確定するまで**10分程度**かかる場合があります。
- [STEP4]（ネットワーク確定設定）
  - ⑨ネットワーク接続 各室外機ごとに「AUE」表示を確認したら③で外した**ネットワークコネクタを接続**してください。
  - ⑩ネットワーク極性設定 **ネットワークコネクタの接続**を確認後、ネットワークの極性設定のため、**任意の室外機（1台のみ）**より7セグのP34で“1”を選択して確定をしてください。
  - ⑪設定完了確認 ネットワークが確定したら各室外機の7セグに「End」を表示します。「End」表示は7セグ操作もしくは3分経過後消灯します。

	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4
内電源	②OFF	④ON	—	—
外電源	①OFF	④ON	—	—
室内機（室内/室外 No.SW）	②内000 /外 49（出荷時）	—	—	—
室外機（室外 No.SW）	①01,02（例）	—	—	—
ネットワークコネクタ	③外す	—	—	⑨接続（各室外機）
自動アドレス開始設定	—	⑤各室外で開始設定セット	—	—
開始アドレス設定	—	⑥外01：[01]（例）外02：[04]（例）	—	—
接続台数設定	—	⑦外01：[03]（例）外02：[03]（例）	—	—
極性設定	—	—	—	⑩任意室外機から7セグP34セット
7セグ表示	—	⑦ [AUX]（点滅）	⑧「AUE」（点滅）エラー時は「A○○」表示	⑪「End」



- ・同一冷媒系統内のアドレス設定は室外機の認識した順番に設定されますので、必ずしも図のように室外機から近い順番に付番されるわけではありません。
- ・必ず全ての室内機の電源が入っていることを確認して下さい。
- ・設定完了後リモコンの点検スイッチを押すと確定した室内機アドレスNo.と室外機アドレスNo.が表示されます。
- ・1つのリモコンで複数台制御する場合でも自動アドレス設定は可能です。
- ・1度登録したアドレスは電源を切ってもマイコンに記憶されています。
- ・自動アドレス後アドレスを変更したい場合は、リモコンで行う「アドレス変更」もしくは室内機アドレススイッチで行う「手動設定」により変更が可能です。変更する場合はネットワーク上の他のアドレスNo.と重複しないように設定してください。
- ・自動アドレスが終了するまでは集中制御機器の電源は投入しないで下さい。
- ・アドレス設定後は必ず試運転を実施し、全ての室内機、室外機が正常に運転できることを確認し各室内機のアドレスを確認して下さい。

アドレス変更（新SLのみ可能）		
「アドレス変更」とは「自動アドレス設定」で既に設定した室内ユニットアドレスをリモコンで変更したい場合に使用します。従ってリモコンによるアドレス変更ができる条件は次の通りとなります。		
	室内機アドレス設定	室外機アドレス設定
	室内No.SW	室外No.SW
1冷媒系統自動アドレス	000	49
複数冷媒系統自動アドレス	000	49
		00～31

この条件以外のアドレス設定の場合に「アドレス変更」を選択した時点でリモコンに下記表示を3秒間します。

ドット液晶表示：「操作無効です」（3秒間点灯）



## 操作手順

(1)リモコンに接続している室内機が1台の場合

項 目	操 作	表 示
1 アドレス変更モード	<p>①エアコンNo.スイッチを3秒以上押し続けてください。</p> <p>②◆を押す毎に表示が切替わります。</p> <p>③「アドレス変更▼」表示のときにセットスイッチを押してください。 これでアドレス変更モードとなり現在の設定アドレスを表示し、室内No.設定表示となります。</p>	<p>「アドレス変更▼」</p> <p>「アドレス変更▼」 ⇨「親室内アドレス▲」</p> <p>「内001 外01」（1秒） →「室内No設定◆」（1秒） →「内 001◆」（点滅）</p>
2 新室内No.の設定	<p>④◆スイッチにより新室内No.をセットしてください。 ▲スイッチで＋１、▼スイッチで－１づつ表示が変化します。</p> <p>⑤アドレス選択後、セットスイッチを押してください。室内アドレスNo.を確定します。</p>	<p>「内 000▲」 ⇨「内 001◆」 ⇨「内 002◆」 ⇨ . . . ⇨「内 127▼」</p> <p>「内 002」（2秒）</p>
3 新室外No.の設定	<p>⑥確定した室内アドレスNo.を2秒表示した後、室外アドレスNo.設定表示となります。 初期表示は現在の設定アドレスを表示します。</p> <p>⑦◆スイッチにより新室外No.をセットしてください。 ▲スイッチで＋１、▼スイッチで－１づつ表示が変化します。</p> <p>⑧アドレス選択後、セットスイッチを押してください。室外 No. 及び室内 No. を確定します</p>	<p>「内 002」（2秒点灯） →「室外No設定◆」（1秒） →「外 01◆」（点滅）</p> <p>「外 00▲」 ⇨「外 01◆」 ⇨「外 02◆」 ⇨ . . . ⇨「内 31▼」</p> <p>「内002 外02」（2秒点灯） →「設定完了」（2秒点灯） →停止状態に戻る</p>

(2)リモコンに接続している室内機が複数台の場合

接続している室内機が複数の場合は配線はそのまま夫々のアドレスを変更することができます。

項 目	操 作	表 示
1 アドレス変更モード	①エアコンNo.スイッチを3秒以上押し続けてください。 ②◆を押す毎に表示が切替わります。 ③「アドレス変更▼」表示のときにセットスイッチを押してください。 リモコンに接続している室内機のうち最も若い番号を表示します。	「アドレス変更▼」 「アドレス変更▼」 ⇨「親室内アドレス▲」 「室内ユニット選択」(1秒) →「内 001 外01▲」(点滅)
2 変更する室内機を選択	④◆スイッチによりリモコンに接続している室内機と、それに接続している 室外機の番号が順に表示されます。  ⑤アドレス選択後、セットスイッチを押してください。変更する室内機アドレス No.を確定し、室内No.設定表示となります。	「内001外 01▲」 ⇨「内002 外 01◆」 ⇨「内003 外 01◆」 ⇨「. . .」 ⇨「内016 外 01▼」 「室内No設定◆」(1秒) →「内 001◆」(点滅)
3 新室内No.の設定	⑥◆スイッチにより新室内No.をセットしてください。 ▲スイッチで＋1、▼スイッチで－1つづ表示が変化します。  ⑦アドレス選択後、セットスイッチを押してください。室内No.を確定します。	「内 000▲」 ⇨「内 001◆」 ⇨「内 002◆」 ⇨「. . .」 ⇨「内 127▼」 「内 002」(2秒)
4 新室外No.の設定	⑧確定した室内アドレスNo.を2秒表示した後、室外アドレスNo.設定表示となります。 初期表示は現在の設定アドレスを表示します。  ⑨◆スイッチにより新室外No.をセットしてください。 ▲スイッチで＋1、▼スイッチで－1つづ表示が変化します。  ⑩アドレス選択後、セットスイッチを押してください。室外No.及び室内No.を 確定します  ⑪引き続きアドレス変更を実施した場合 ⑫に戻ります	「内 002」(2秒点灯) →「室外No設定◆」(1秒) →「外 01◆」(点滅) 「外 00▲」 ⇨「外 01◆」 ⇨「外 02◆」 ⇨「. . .」 ⇨「外 31▼」 「内002 外02」(2秒点灯) →「次設定選択◆」(1秒点灯) →「室内機選択▼」(点灯) 「◆で選択」(1秒) →「設定完了」(2～10秒点灯)
5 終了	⑬終了したい場合1（変更したアドレスを反映する場合） ⑭の状態で▼スイッチを押し「終了▲」を選択してください。 アドレス変更が終了した場合は「終了▲」でセットスイッチを押し下さい。設定を送信 している間、「設定完了」の表示がでます。その後リモコン表示が停止状態に変わります。  ⑮終了したい場合2（変更したアドレスを反映しない場合） 設定の途中で「運転/停止」スイッチを押してください。 本モードを強制終了し停止状態となります。 それまでに変更したアドレス設定は反映されません。	「終了▲」 →「設定完了」(2～10秒点灯) →停止状態 「運転/停止」 →強制終了

◆スイッチはを0.75秒以上押しつづけることで0.25秒毎に表示を連続して1ずつ切換えます。

- ・操作途中でリセットスイッチを押すと直前のセットスイッチ操作前の表示に戻ります。

・本モードの途中で、室内No.を変更しても、「室内機選択▼」で表示される室内No.は

「設定完了」となった時点で、室内No.が確定します。

【注意】・集中制御機器はアドレス決定後、電源を入

電源を入れる順番を間違えますとアドレスを認識しない場合があります。

## ●自動アドレス設定時の7セグ表示

### お客様で設定して頂く項目

Code	表示内容
P30	通信方式表示    0：旧SL方式 1：新SL方式    (通信状態を表示します。設定はできません。)
P31	自動アドレス開始入力
P32	開始アドレス入力    自動アドレス時の開始室内アドレスを指定する
P33	接続室内機台数入力    自動アドレス時の冷媒配管を接続している室内機台数を指定する
P34	極性送信    0：ネットワークを確定しない 1：ネットワークを確定する

## アドレス設定時の表示

Code	表示内容
AUX	自動アドレス設定中 X：室外機が認識した室内機の台数
AUE	室内機アドレス 付番 正常終了
End	極性確定（自動アドレス） 正常終了

## エラー時の表示

Code	表示内容	ここを点検して下さい
A00	実際に通信できる室内機がない。	信号線がゆるみなく接続されていますか。 室内機の電源はONになっていますか。
A01	実際に通信できる室内機台数が7セグP33で設定した台数より少ない	信号線はゆるみなく接続されていますか。 接続室内機台数を入力し直してください。
A02	実際に通信できる室内機台数が7セグP33で設定した台数より多い	信号線はゆるみなく接続されていますか。 ネットワークコネクタは外してありますか。 接続室内機台数を入力し直してください。
A03	開始アドレス(P32)+接続室内機台数(P33)>128台	開始アドレスを入力し直してください。 接続室内機台数を入力し直してください。
A04	旧SL設定ユニットがネットワーク上に存在する時に、複数系自動アドレス設定を行った。	手動アドレス設定を行ってください。 旧SL設定機をネットワークから分離してください。 全のユニットを新SL設定にしてください。

## 異常表示

Code	表示内容	要 因
E2	室内機アドレス重複	・手動アドレス設定不良
E3	室内・外アドレスペアリング不良	・ネットワーク上存在しない室外No.をセット ・室外グループで親機存在しない
E11	1リモコン複数台接続	・1リモコン複数台制御
E12	室内機設定不良	・室内機のアドレス設定で自動アドレスと手動アドレスが混在
E31	室外機アドレス重複	・同一ネットワーク上に複数のモジュールが存在
E46	設定不良	・同一ネットワーク上で自動アドレスとリモコンアドレス混在

## 7-2. 制御の切換

室外機の制御内容は、下記のとおり基板上のディップスイッチと7セグ上のP〇〇にて切換えることができます。

7セグ上のP〇〇切替時は、SW8(7セグ表示アップ：1位)、SW9(7セグ表示アップ：10位)及びSW7(データ書込／決定)長押しにて設定することができます。

制 御 切 換 方 法		制 御 切 換 内 容	
基板上 SW 設定	7セグ上 P.O.O 設定		
SW3-7 を ON※1	外部入力機能割り当てを "2" に設定※1	冷暖強制モード ( 外部入力端子開放の場合冷房、短絡の場合暖房と固定できます)	
SW5-1 を ON + SW5-2 を ON	—	冷房試運転	
SW5-1 を ON + SW5-2 を OFF	—	暖房試運転	
室外機の液操作弁を閉じ、下記に示す順に操作する。 (1)基板上 SW5-2 を ON (2)基板上 SW5-3 を ON (3)基板上 SW5-1 を ON	—	ポンプダウン運転	
SW4-5:OFF, SW4-6:OFF※1 80% (出荷時設定) SW4-5:ON, SW4-6:OFF※1 60% SW4-5:OFF, SW4-6:ON※1 40% SW4-5:ON, SW4-6:ON※1 0%	外部入力機能割り当てを "1" に設定※1	外部入力端子に信号を入力するとデマンドモードになります。 (J13短絡時：レベル入力, J13開放時：パルス入力)	
SW5-5	—	通信方式切換 ON：IBSL通信 OFF：新SL通信	
J13：短絡 (出荷時設定), J13：開放時	—	外部入力切換 (CnS1, CnS2のみ) 短絡：レベル入力, 開放：パルス入力	
J15：短絡 (出荷時設定), J15：開放時	—	デフロスト切換 短絡：通常デフロスト, 開放：強化デフロスト	
—	P01	運転優先切換 0：先押し優先 (出荷時) 1：後押し優先	
—	P02	室外ファン防雪制御 0：制御無効 (出荷時) 1：制御有効	
—	P03	室外ファン防雪制御 ON時間設定 30秒 (出荷時) 10, 30～600秒	
—	P04	省エネモード※2 OFF：無効 (出荷時) 000, 040, 060, 080 [%]	
—	P05	静音モード設定 0 (出荷時)～3：数値が大きいほど静音効果大	
—	P06	外部出力 (CnZ1)機能割り当て	
—	P07	外部入力 (CnS1)機能割り当て	
—	P08	外部入力 (CnS2)機能割り当て	
—	P09	外部入力 (CnG1)機能割り当て	
—	P10	外部入力 (CnG2)機能割り当て	
—	P11～	予備	

※1 外部入力機能割り当て（P07～10）と、SW両方が切り替えられた時に制御が切り換わります。

(例：CnS1を冷暖強制モードの入力に使用する場合はP07を2、SW3-7をON、CnS2を冷暖強制モードの入力に使用する場合はP08を2、SW3-7をONする)

※2 省エネモードの時は、外部入力端子に信号を入力しなくても能力制限が有効となります。

7セグ上で外部入力機能割り当て（P07～10）を切り換えることで外部入力端子の機能を切り換えることができます。外部入力端子に信号を入力すると下記の機能が有効になります。

外部入力機能割り当ての設定値	外部入力端子短絡時	外部入力端子開放時
"0"：外部連転入力	無効	有効
"1"：デマンド入力	無効	有効
"2"：冷暖強制入力	有効	無効
"3"：静音モード入力	有効	無効
"4"：予備		
"5"：室外ファン防雪制御入力	有効	無効
"6"：試運転外部入力1 (SW5-1同等)	試運転	通常
"7"：試運転外部入力 (SW5-2同等)	冷房	暖房
"8"：静音モード No2	有効	無効
"9"：予備		

7セグ上のP06を切り換えることでCnZ1の外部出力機能を切り換えることができます。

"0": 運転出力
"1": 異常出力
"2": コンブON出力
"3": ファンON出力
"4～9": 予備

### 7-3. 外部入出力端子仕様

名 称	用 途（工場出荷時）	仕 様	基板側コネクタ
外部入力CnS1	外部運搬入力（工場出荷時短絡）	無電圧接点(DC12V)	二チアツ B02B-XAMK-1(LF) (SN)
外部入力CnS2	デマンド入力（工場出荷時短絡）	無電圧接点(DC12V)	二チアツ B02B-XARK-1(LF) (SN)
外部入力CnG1	冷暖強制入力（工場出荷時開放）	無電圧接点(DC12V)	二チアツ B02B-XAEK-1(LF) (SN)
外部入力CnG2	静音モード入力（工場出荷時開放）	無電圧接点(DC12V)	二チアツ B02B-XASK-1(LF) (SN)
外部出力CnZ1	予備出力（外部出力）	DC12V出力	モレックス 5566-02A-RE
外部出力CnH	運転出力	DC12V出力	モレックス 5266-02A-BU
外部出力CnY	異常出力	DC12V出力	モレックス 5266-02A



## 8. 試運転・引渡し

## 8-1. 運転を始める前に

- (1) 電源端子台と設置面を500Vメーターで測って1MΩ以上であることを確認ください。
- (2) 電源投入前に信号線端子台抵抗が100Ω以下の場合は、電源線を信号線端子台に接続している可能性があります。6-3の抵抗値の目安を参考に配線を確認してください。
- (3) 運転6時間前に必ず電源をONとし、クラークケースヒータに通電してください。  
クラークケースヒータ通電後、上記時間が経過するか圧縮機内部の温度が上昇しないとき圧縮機が運転しない場合があります。(圧縮機保護のため) 7セグLEDに「IL00LED」と表示されています。クラークケースヒータ通電により圧縮機内部の温度が上昇してから試運転を行ってください。
- (4) 圧縮機底部が暖かくなっていることを確認してください。
- (5) 室外機の操作弁(ガス・液)は必ず全開にしてください。閉のまま運転しますと圧縮機が故障する場合があります。
- (6) 全室内機の電源が入っていることを確認してください。一部の室内機電源が入っていない場合、故障の原因になります。

**ご注意**  
試運転前に操作弁(ガス・液)の全開をチェックしてください。閉状態では圧縮機故障の原因になります。

## 8-2. 試運転

- (1) 室外機からの試運転  
室外壁板のSW5-1とSW5-2のスイッチにより、外部入力端子のON/OFFにかかわらず室外から試運転ができます。はじめに試運転するモード(冷房/暖房)をお選びください。冷房試運転の場合はSW5-2をONに、暖房試運転の場合はSW5-2をOFFにしてください。(工場出荷時はOFFです。)  
次にSW5-1をOFF→ONにすることで、接続されているすべての室内機を運転します。試運転終了後はSW5-1をOFFとしてください。  
ご注意：試運転中は、室内機のリモコンからの操作(変更)はできません。(集中管理中の表示がでます。)
- (2) 室内側からの冷房試運転方法。リモコンを次の手順で操作してください。  
(ア)冷房試運転の開始  
① **運転/停止** ボタンを押して運転します。  
② **運転切替** ボタンにより「冷房」を選択します。  
③ **試運転** ボタンを3秒以上押します。「項目 ◆」で選択 → 「**セット**」で決定 → 「冷房試運転▼」と表示が切り換ります。  
④ 「冷房試運転▼」の表示で、セットボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。  
(イ)冷房試運転解除  
⑤ **運転/停止** ボタンまたは、温度設定 **△** **▽** ボタンを押すと、冷房試運転を終了します。「冷房試運転」表示が消灯します。  
ご注意：配管工事の方へ、または電気工事の方へ  
試運転終了後、お客様へお引渡しの際に、電装品箱のふた、本体パネルが取り付けであることをもう一度ご確認ください。

### 8-3 引き渡し

- 据付、試運転完了後、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの方法を説明してください。また、この据付説明書は取扱説明書とともにお客様に保管頂くようにご依頼ください。
- 長時間運転しない場合でも、電源スイッチは切らないようにご注意ください。暖房や冷房運転をしたいときいつでも運転が可能となります。（クランクケースとヒータにより圧縮機底部が暖められているためシーズンインの圧縮機トラブルを防ぐことができます。）

## 9. サービス時の注意（R410A対応機）

- (1) 凍結油の混入を避けるために、冷媒の種類により工具類を適切に使用してください。
- (2) 冷凍機油への吸着を避けるために、冷媒回収の開放時間は極力短くしてください。(10分以内としてください)
- (3) その他配管施工、気密試験、真空引き、冷媒封入に関しては「冷媒配管」をご覧ください。
- (4) 故障診断  
故障診断内容はユニットに貼り付けている配線図表と技術資料を参照してください。
- (5) 7セグLED表示  
表示灯はスイッチにより、データを表示できます。表示内容はユニットに貼り付けている配線図表を参照ください。